

発行所
真宗大谷派宗務所
代表者 木越 渉
編集／東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)

購読料 無料
送料 1部1カ年1,300円
(1,182円+税10%)※部数により変動
振替口座番号 01000-6-27404
加入者名 東本願寺出版部

東本願寺公式YouTubeにて
さまざまな行事の様子を
公開しています。

東本願寺NEWS

検索

どうぼうしんぶん

同朋新聞

Dōbō Shimbun

2

Vol. 795

February 2024

令和6(2024)年能登半島地震で被害に遭われました
寺院・教会、ご門徒はじめ被災者の方々に対し、
衷心よりお見舞い申し上げます。



倒壊した本堂



陥没した道路

240カ寺
353カ寺

113カ寺
325カ寺

14カ寺
214カ寺

10カ寺
128カ寺

59カ寺
464カ寺

142カ寺
754カ寺



液状化した道路



土台がずれた鐘楼

宗派の支援活動や現地の
被災状況等の最新情報はここから

宗派ホームページ



「真宗大谷派 災害情報」
公式X



このたびの「令和6年能登半島地震」により、大切なご家族を亡くされ、住まいや故郷に甚大な被害を受けられた多くの方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

2022年に宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百周年慶讃法要「お待ち受け大会」で訪れた能登の地で、今なお安否が不明な方や、避難生活を余儀なくされている方々が多くおられることに、深く心を痛めております。

このたびの地震により不安な日々を過ごされている全ての方に、一日も早く安穏なる日常が取り戻されることを心より念じております。

2024年1月9日
真宗大谷派第26代門首 大谷 暢裕

本年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により、被害に遭われました寺院・教会、ご門徒をはじめとする全ての被災者の方々に、衷心よりお見舞いを申し上げます。

このたびの地震の影響を受けた北陸の地は真宗門徒の多い地域ですが、とりわけ震源地である能登地方は近年たび重なる地震により何度も苦しい思いをされていた中で、このたびの巨大地震の発生により、多くの寺院・ご門徒が甚大な被害を受け、今なお深い悲しみと不安の日々を過ごされております。

真宗大谷派は、このたびの地震により大切なご家族を亡くされた方々に寄り添い、繋がれた尊い命を何としても守り抜くため、全力を傾注して支援策を講じてまいります。

2024年1月9日
真宗大谷派宗務総長 木越 渉

CONTENTS



特集
真宗本廟(東本願寺)の
境内建造物17棟が
重要文化財に

6面

ひかりを伝えたひと
―七高僧と聖徳太子 第2回

5面

通信員リレーレポート
現在を生きる 第244回
縁―お寺の掲示板― 第7回

4面



人間といういのちの相
地域で暮らす
一員として
木下 斉さん

2・3面

御本尊は本山からお受けしましょう

この紙面では、さまざまな人とおして、現代社会の抱える課題や人間そのものについて考え、宗祖御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」、慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」の学びを深めていきたいと思います。

人間といういのちの相

すがた
連載



地域で暮らす一員として

「消滅可能性都市」。2014年に日本創成会議が、人口流出や少子化が進み存続できなくなる可能性がある都市として、全国の市区町村の約半数の896市区町村を示しました。現在すでに、人口減少など、さまざまな問題を抱えている地域も多くあります。過疎化が進む地域で、私たちができることはあるのでしょうか。全国各地で地域再生を目的とした事業に関わられている木下さんのお話から人間の相を考えます。



一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事。高校時代に全国商店街の共同出資により、株式会社商店街ネットワークを設立、社長に就任。大学院在学中に内閣府政策調査員として公益法人制度改革などについて従事。2015年より公民連携(現、都市経営)プロフェッショナルスクールを開校。

インタビュー
木下 斉さん

高校1年からまちづくりに関わって

——木下さんがまちづくりに関わられるようになったきっかけを教えてください。

私は、受験勉強とは違うことを高校時代にやりたいと思い、大学受験がない、高大貫教育の高校に進学しました。そして、大学の先輩でもある乙武洋匡さんが早稲田商店会で活動されたことを著書で知り、参加してみたいと問い合わせをしたところ、やる気があるなら一緒にやろうよ、と声を掛けていただき、高校1年生から商店街の活動に参加するようになりました。

参加した早稲田商店会は、ただ人を集めるだけのイベントをするのではなく、より広い視野で取り組みを行っていました。ちょうど、環境問題が取りざたされ始めた頃で、ごみの再資源化やごみ収集の有料化が進むタイミングでした。その

ごみの問題と、学生街のため夏にお客さんが来ないという問題を掛け合わせて、「エコサマー」という企画を行いました。商店街だけでなく、東京都や新宿区、通商産業省現在の経済産業省、国連大学、早稲田大学、そして全国の環境機器を扱っているベンチャー企業なども参加し、大に盛り上がりました。

高校3年の時には、面白い活動をやっている商店街として、全国から視察が来るようになりました。そして各地の商店街が繋がる「商店街ネットワーク」という会社を作ることになり、私が社長に就任しました。そして、事業をおしてそれだけの地域の価値を生み出し、地域が再生していくかたちを取れないかと、ヨーロッパやアメリカに視察に行きました。すると訪れた国や地域では、まず地域の人たちがお金を出し合って会社をつくり、街の

再生をしていたのです。その土地に住む者として、責任を持つどう生活していくのかということ向き合っているんですね。

日本の商店街でも、今ある店舗のことだけを考え、土地を持つているお店が、自

地元の人こそ主役

——まちづくりにおける問題は、コロナ前後で変化があったのでしょうか。

コロナ前後の変化としては、時計の針がより進んだと感じています。コロナで地方移住がメディアなどで取り上げられていましたが、データを見ると、地方移住が増えたという傾向はほぼありません。東京から流出する人が増えたとも一時期言われましたが、その人たちは埼玉、神奈川、千葉という、東京圏の中の移動です。少しでも広い住居を求めた結果でしょう。また、コロナ下に、東京への人口流入が減ったと言われましたが、少な

身の商売を続けることだけ考えるのではなく、外の人に店を貸すという選択も一緒に考えないと、根本的な変化にならないと感じ、住民が自分たちで責任を持つてまちづくりを考えるような事業を展開してきました。

くなった番の原因は外国人の減少です。今、日本の人口動態の数字には、海外から来日されて暮らしている方々の数も含まれています。都道府県間を越えての人口移動というのは、国内では減り続けています。逆に言うと、それだけ移動する人の母数が、地方にはもう存在しなくなっているということでもあります。

また、地方では大きな田畑を持つている家などを除いては、生活を維持することも厳しく、地方に残れないという理由もあります。現在は給料も上がらず、また職の選択肢も少ないため、土地などの

資産を親から引き継ぐことができない人たちは、地方で生活し続けることが難しい現状です。もちろん地方のよさもたくさんありますし、まだこれから伸びる産業もあると思う一方で、なぜ人口が減っていくのかと言えば、男女ともに働かなければいけない中で、生活を成立させられる仕事や、居住の選択がとても難しいということです。

そのような状態をみんなで共有し、どのように助け合うのか、価値観も変えていかなければいけません。より踏み込むと、人間がどう生きて、どう亡くなっていくのかということについて、きちんと考えなければいけないと思います。本来われわれの人間として人間らしい生活とは何なのか。実は、まちづくりってそういうことを全体的に考えていかないと、一人ひとりが満足して生活できるような街にはならないのですが、踏み込んだ議論はあまりされません。

なぜ過疎化するのかというのも、人が減ったから地域が劣化したのではなく、地

域が劣化した結果、人がいなくなるという、因果関係の原因のところに踏み込んだ問題の理解をしなければいけません。地域の方々とともに、社会の読み解き方や、長い視線で見たとときの、私たちの人生観や死生観みたいなものを養っていくことが、今こそまちづくりに必要なのではないかと思っています。

——ただ人口を増やすことを目的としたまちづくりは、人のことを道具としか見ていないようで違和感があります。

そうですね。人を道具として見るという傾向は、移住や定住促進の取り組みにも感じます。地元で生まれ育った自分の子どもを、進学や就職のために都市へ送り出しておきながら、縁もゆかりもない外の人に移住してもらって、地域を活性化してもらおうというのは、根本的に違うのではないかと思います。

本来、移住を促進する前に、なぜこの土地から人が出ていってしまうのかという問題に向き合わなければいけないのではないのでしょうか。

地元の人ですら、その土地で起業し、生計を立てることも難しいじゃないですか。それを、外から来た若い人に全部やらせようというのは、都合のいい話です。それを含め、人を道具として見ていくような姿勢が、地元の若い人たちを地

ヒーローより凡人が大事

——「地方の活性化には、ヒーローの出現を待つのではなく、凡人がいかに立ち上がるかが大事」とおっしゃっています。が、どういふことでしょうか。

勉強会では成功しているケースを学ぶため、成功している人から話を聞きますよね。しかし、そういう人は、たまたま始めた結果、成果が出たので、ヒーローや

勉強会では成功しているケースを学ぶため、成功している人から話を聞きますよね。しかし、そういう人は、たまたま始めた結果、成果が出たので、ヒーローや

勉強会では成功しているケースを学ぶため、成功している人から話を聞きますよね。しかし、そういう人は、たまたま始めた結果、成果が出たので、ヒーローや

勉強会では成功しているケースを学ぶため、成功している人から話を聞きますよね。しかし、そういう人は、たまたま始めた結果、成果が出たので、ヒーローや



台湾の大学で行ったプログラムの参加者と

通信員リレーレポート

第244回

いまを生きる

ご縁をいただき
教えに遇うよろこび小松大聖寺教区第1組
本善寺門徒
脇坂 由美子さん(74歳)

脇坂由美子さん

日本全国のご門徒の方々や各地で開かれている
同朋の会を紹介しします。

脇坂さんが住んでいる石川県の加賀市伊切町では、本願寺第8代蓮如上人の時代から続く「お講」の伝統が今も色濃く残っている。現在も「説教所」と呼ばれる聞法道場を地域の真宗門徒66軒が自主的に管理し、持ち回りで毎日お仏供をあげている。その中で毎月14日を「母お講(女性のためのお講)」の日と定めて、7代から90代までの15人ほどで「正信偈」をお勤めし、仏法を聴聞している。

このお講に脇坂



石川県に色濃く残る説教所

さんが参加するようになったのは、退職後、地域の方に誘われたことがきっかけという。地域の大谷婦人会※の役員や、お手次寺のお手伝いの仕事も引き継ぐようになり、もう10年近くになっている。

はじめはお付き合いという思いから、足運ぶようになつたが、普段の悩みを分かちあえる友と出会い、また、法話を聴く大切さを感じられたという。『ご法話を聴く中で、言い当てられる身の事実に向き合いました。今ではご法

話を聴くことも、大谷婦人会や寺の同朋婦人会で出遇つた方々とお話することも心の支え、大切な拠り所となっております。お話の響きを毎晩思い返して味わつてみるのですが、ふと「なむあみだぶつ」とお念仏が出てくることもあるんです」とにこやかに話される。

「振り返ると、祖母はいつも大きな声でお念仏を称えている人でした。祖母と一緒に幼い頃からお内仏に手を合わせたり、親族が自宅に集まって毎年報恩講もお勤めしていましたが、その様子が不思議だったんです。でも今は、祖母の姿も当たり前のようにしてきた営みも、どれだけの有難い縁であつたのかということをしみじみ思われます」。

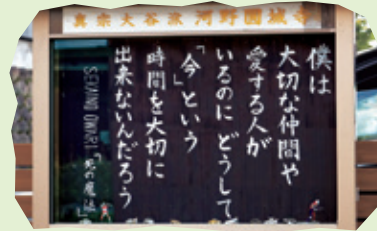
お寺の総代を務めるお連れ合いとともに、ご自宅のお内仏に手を合わせる毎日を過ごされている脇坂さんは、「お誘いを受けてお講に出るようになり、役員のお仕事もお引き受けしたり、ご法話を聴かせていただくようになったのも、すべて尊い縁でした。その縁に感謝し、今は私自身も周りの方をお誘いして、少しでもこの縁を繋いでいけたらと思っています」とあらためて願つておられる。常に前向きに話される脇坂さんの姿に、仏法に生きる人の力強さと明るさを感じ、私自身励まされる思いがした。

※お寺や組、地域単位で形成する支部が全国に約3000カ所あり、それぞれの地域で特色ある聞法活動を行っている。

小松大聖寺教区通信員
畠山 三和子

お寺の掲示板

第7回

お寺の掲示板に込められたさまざまな願いを、
今月の言葉と一緒に毎月お届けします。かわの えんじょうじ
河野圓城寺(岐阜高山教区 第3組)
岐阜県羽島郡笠松町円城寺917
住職 藤井 英俊

僕は大切な仲間や愛する人がいるのにどうして「今」という時間を大切に出来ないんだろう

みなさんはどんな瞬間の「今」も大切に思っていますか？もしかしたら、大切に生きている「つもり」なのかもしれません。人氣曲の「節を通じて」「仲間」「愛する人」という身近な人との関わりから、自らを見つめ直し、確かめてもらおうきっかけになればと願っています。



※許諾番号(ID000009164、PB000054489)

2007年に勤修された蓮如上人五百回御遠忌法要を機縁に、ご門徒から2つの伝道掲示板が寄進されたのが河野圓城寺の掲示伝道の始まり。以来、住職の藤井英俊さんが言葉を考え、筆を執る。

2カ所の掲示板には同じ言葉を書いているが、そのうち一つは小中学生の通学路近くにあるため、子どもたちにも興味を持つてもらえるよう言葉の選定には配慮している。また、掲示板の片隅にキヤクターや車のフィギュアを添えるなどの工夫も。

「掲示伝道を始めてから、ご門徒との何気ない会話や世の中の出来事などに関心を寄せ、あらためて自分自身を問い、見つめ直す生活が生まれました」と語る英俊さん。

毎月書き替えられる黒板には、消された文字の跡がかすかに残り、今までひとつひとつ積み重ねてきた証と、その法語に込められた住職の思いが滲み出ている。

英俊さんは、掲示した言葉が縁となつて、多くの方に足を運んでいただき、日々の生活の中で向き合うさまざまなことを語り合えるお寺になることを願っておられる。

岐阜高山教区通信員
川並 秀樹

第58回「京の冬の旅」



渉成園(園林堂・間風亭)特別公開

【期間】～3月18日まで ※3月1日～3日は公開中止
【時間】2月 9:15～15:30(最終受付15:00)
3月 9:15～16:30(最終受付16:00)
【料金】大人(中学生以上)500円/小学生250円
(別途、渉成園の入園に庭園維持寄付金500円以上)

渉成園特別公開

東本願寺御用達

日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下ル
電話 (075) 351-6325
フリーFAX 0120-89-5255
定休日：日曜日

教行寺本堂災害復旧工事(奈良県北葛城郡)



西暦 578 年創業 社寺建築

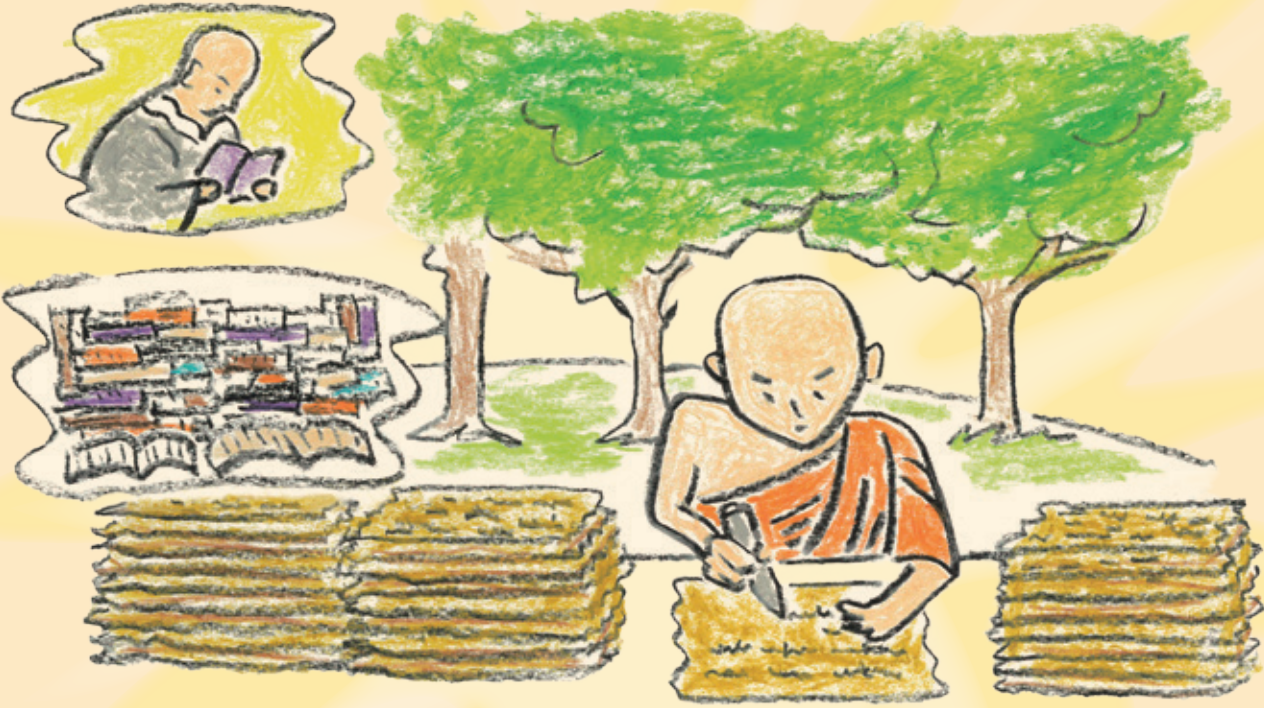
剛 金剛組

本店/大阪・東京
支店/北海道・関東・名古屋・京都・九州
営業所/奈良・広島

☎ 0120-054-731

<https://www.kongogumi.co.jp/>金剛組専属宮大工の匠の技をご覧いただける加工センターやギャラリーの見学会を行っております
どうぞお気軽にお問い合わせ下さい

親鸞聖人^{りゅうじゅ てんじん}がお念仏^{おんぶつ}の教えを自分のところまで届けてくださった師として、生涯大切に仰がれた方々^{わこく きょうしゅ}がいます。『七高僧^{しちこうそう}』と呼ばれるインドの龍樹^{りゅうじゅ}・天親^{てんしん}、中国の曇鸞^{どんらん}・道綽^{どうしゃく}・善導^{ぜんどう}、日本の源信^{げんしん}・源空^{げんくう}(法然)。そして「倭国の教主」と仰がれた聖徳太子です。親鸞聖人は彼らからどんな「ひかり」を受け取られたのでしょうか。本号からは龍樹について、3回にわたってたずねてまいります。



ひかりを 伝えるひと

一七高僧と聖徳太子

第2回

りゅうじゅ ぼ さつ
龍樹菩薩

ほんじ りゅうじゅ ぼ さつ
本師龍樹菩薩は

ち どうじゅう び ば しや どう
智度十住毘婆娑等

つくりて

おおく西をほめ

すすめて

念仏せしめたり

『高僧和讃』『真宗聖典』四八九頁

【現代語訳】

根本の師である龍樹菩薩は『大智度論』『十住毘婆娑論』などをつくられて、何度も、阿弥陀仏がおられる西方極楽浄土を誉め讃え、人びとに念仏することを勧めておられる。

八万四千の法門

一度に多くのことがらを前にして、何が大切なかわからなくなってしまうことがあります。日常生活では対処すべきことが次々と起り、そのどれもが重要に思えます。そうして、目の前のことがらに追われて目指すべき方向を見失ってしまうことは珍しくありません。何をもちとも大切とすることが明確でないと、優先順位をつけられないからです。

仏教にも、「八万四千の法門」といわれるほどに多くの教えがあります。あまりにも多くて、かえって迷ってしまいます。親鸞聖人が道筋を見出されたのは、七人の高僧(七高僧)の教えを通じてでした。現在に伝わる『高僧和讃』は、七高僧の教えを讃えるものです。その冒頭に挙げられるのが龍樹菩薩です。

インドから日本へ

龍樹(ナーガールジュナ)菩薩は、二―三世紀のインドで、大乘仏教の基礎を確立した人物です。「大乘」とは「大いなる教え」という意味です。龍樹菩薩は、「空」という考え方を中心にして大乘仏教をはじめ整理なさいました。

龍樹菩薩の著作は、中央アジアから中国や朝鮮半島を経て、聖徳太子の時代には日本にも伝えられています。それらは盛んに研究され、日本の仏教の基礎となりました。

龍樹菩薩の思想をもつもの的確に表明していると言われるのは、『中論』という著作です。

ところが、この和讃では、その代表的な『中論』が挙げられていません。題名が挙げられているのは『大智度論』と『十住毘婆娑論』だけです。これらは龍樹菩薩の他の著作と何が違うのでしょうか。

念仏の勧め

聖人がもつとも注目なされたのは、阿弥陀仏の本願にもとづいた念仏を勧めているという点です。

『大智度論』と『十住毘婆娑論』では、阿弥陀仏や浄土、念仏に何度も触れておられます。『大智度論』では、浄土がどのような様子なのか説明されます。また、『十住毘婆娑論』では、仏道修行には、仏の名を称える易行という方途もあることが示されます。

龍樹菩薩は、釈尊がお説きになった教えを整理してくださいました。それは、満天の星の中から北極星のひかりを示してくださいましたように感じられたことでしょう。北極星は、方角を明確にし、道に迷わないようにしてくれる星として古くから重視されてきました。龍樹菩薩は、さまざまな教えにあふれる仏教の中から、念仏の道があることを示してくださいましたのです。



わけみ あきら
采翠 晃

大谷大学文学部
仏教学科教授
京都教区近江第25西組
長光寺住職

特集

真宗本廟(東本願寺)の
境内建造物17棟が

重要文化財に

2023年9月25日に真宗本廟(東本願寺)境内建造物17棟が、意匠的に優秀で歴史的価値が高いと評価され、国の重要文化財に指定されました。文化庁の文化審議会の答申では、「4度に及ぶ震災の後、明治から昭和期にかけて整備された上質な意匠と格式を備える近代随一の大規模寺院殿舎群」として、大寝殿など14棟が追加指定されました。また内事洋館は、「稀代の建築家武田五一」による先進的な意匠を取り入れた和洋併設の大規模二世帯住宅」として、新たに3棟が指定されました。

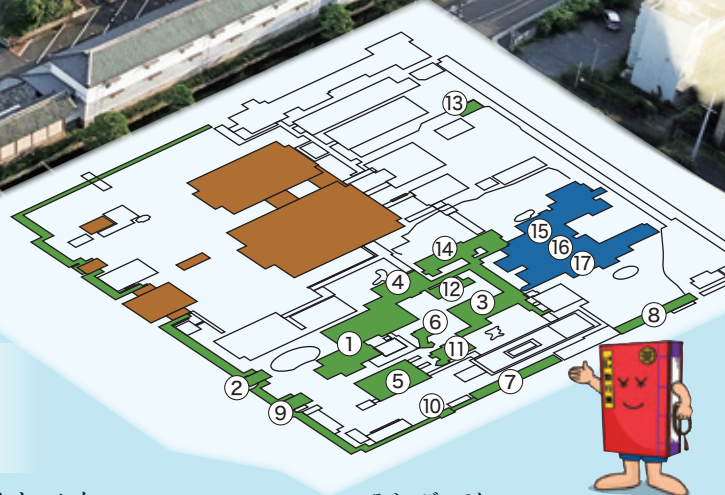
2019年9月30日に御影堂をはじめとする6棟がすでに重要文化財に指定されているため、このたびの指定を受け、真宗本廟境内の建造物計23棟が重要文化財となりました。

① 大寝殿 おおしんでん 報恩講お斎会場 外観のみ見学可
および 大玄関 おおげんかん

1867(慶応3)年前後に造られ、現在の真宗本廟内で最も古い建物。
1864(元治元)年の禁門の変(蛤御門の変)による境内建物の焼失後、両堂が完成するまでの間、対面・儀礼の場が必要であったことからいち早く再建されました。

⑤ 議事堂 ぎじどう 外観のみ見学可
(現東本願寺出版建物)⑥ 能舞台 のうぶたい 行事等で使用することあり
※絵画は通常養生されています2023年
指定重要文化財
の建物

- 既指定重要文化財建造物
- 今回指定重要文化財建造物
- 今回追加指定重要文化財建造物



② 菊門 きくもん 見学可



1911(明治44)年に再建されました。四脚唐門で柱・門扉などを黒漆塗りとし、組物には極彩色を施し、門扉の表側には金色で菊花紋を浮き彫りにしているのが特色と言えます。

③ 白書院 しろしょいん お斎会場として使用



1911(明治44)年の親鸞聖人六百五十回御遠忌に際し再建された建物。白書院という名称は、柱その他の用材が白木であって、漆などを塗らずに仕立て上げられていることからそうに言われています。

④ 宮御殿 みやごてん お斎会場として使用



旧大宮御所に建てられた御殿が、1880(明治13)年に贈られたものです。部材のまま保管されていましたが、1901(明治34)年の「御真影遷座三百年記念法会」に合わせて御影堂北側の現在地に建てられました。

⑦ 十三窓土蔵 じゅうさんそうどう 外観のみ見学可



⑧ 内事門 ないじもん 境内外側からのみ見学可



⑨ 玄関門 げんかんもん 見学可



⑩ 寺務所門 じむしょもん(宗務所門) 見学可



⑮ 洋館 非公開



⑯ 日本館 非公開



⑰ 鶴の間 非公開



⑪ 表小書院 おもてこしょいん お斎会場として使用



⑫ 桜下亭 おうかてい 非公開



⑬ 宝蔵 ほうぞう 非公開



⑭ 黒書院 くろしょいん 非公開



武田五一によって設計された1923(大正12)年建築の大規模な二世帯住宅。洋館は細部意匠を含めて造形の特徴をよく捉え、アメリカの建築家であるフランク・ロイド・ライトの造形を取り入れた初期事例としても特筆された建物になります。

つけたりしい
(附指定)

- ひやくけんろうか 百間廊下
- ついじべい 築地塀等

ご寄付のお願い

現在、重要文化財である鐘楼及び手水屋形の修理工事が進められています。

鐘楼修理期間 2023年7月～2024年9月(予定)
手水屋形修理期間 2024年4月～2025年3月(予定)

鐘楼及び手水屋形の修理についてご寄付を募っておりますので、みなさまのご支援を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

詳しくはこちら →

東本願寺 検索



真宗門徒として帰敬式(おかみそり)をうけましょう

●

真宗本廟お煤払い

昨年12月20日、真宗本廟においてお煤払いが執り行われた。お煤払いは、御影堂と阿弥陀堂で1年間にたったほこりや塵を払い出す大掃除で、本願寺第8代蓮如上人の頃から500年以上続く伝統行事。今回は、尾張清浄講(愛知県)をはじめ、奉仕団の方々や近隣住民、職員に加え、大谷中学校[京都]、京都光華中学・高等学校の生徒のみなさんにも参加いただき、あわせて約350人が両堂の大掃除に奮闘した。

参加者は横一列に並び、職員の掛け声を合図に、一斉に両手に持った竹の棒で畳を打ち叩いた。大きな音とともに畳からたくさんほこりや塵が舞い上がり、大うちわで外へ扇ぎ出される様子



お煤払いの様子



● レポート

『親鸞万華鏡』

『いま、親鸞を語る』

開催

『親鸞万華鏡』
四六判/372頁
3,300円(税込)

トークセッションの様子

右から伊藤比呂美氏、
高橋源一郎氏、
中島岳志氏

昨年11月30日、東本願寺出版発行の新刊書『親鸞万華鏡』発売記念トークセッション「いま、親鸞を語る」が、しんらん交流館大谷ホールにて開催された。

『親鸞万華鏡』は、月刊誌『同朋』で連載されたインタビュー企画「親鸞万華鏡」のうち30篇を1冊にまとめたもの。武田鉄矢氏や齋藤孝氏をはじめとした、親鸞に関心をもつ多様な分野の著名人が登場し、現代における親鸞思想の豊かな可能性が存分に語られている。

本イベントでは、スピーカーとして伊藤比呂美氏(詩人)、高橋源一郎氏(作家)、中島岳志氏(東京工業大学教授)、司会として花園一実氏(東京教区圓照寺住職)が登壇した。

トークセッションでは、『歎異抄』の親鸞と唯円の関係性、「詩人」としての親鸞、創作における「他力」についてなど、それぞれの親鸞観が語り合われた。参加者からは「各分野からの親鸞観が新鮮で面白かった」「とても刺激的で楽しい時間だった」といった声が聞かれた。

● お知らせ

能登・金沢教区が教区改編の合意

金沢教区 教区門徒会の様子

能登教区 教区会の様子

宗門では、社会環境が激変していく時代にあって、将来にわたって念仏の教えを手渡していく教化・財政の基盤づくりのため、全国の教区を17教区に改編する「教区及び組の改編」を進めている。

能登教区と金沢教区では、2023年6月の地方協議会において、教区改編の合意がなされ、去る12月6日、8日に金沢教区、同月11日に能登教区において臨時教区会、臨時教区門徒会が開催され、改編合意事項の議決がなされた。

合意書では、新教区の名称を「能登金沢教区」、新教区発足を「2025年7月1日」、教務所の設置場所を現金沢教務所とし、現能登教務所を新教区の教務支所とするなど、全7項目について合意されている。

能登・金沢教区では、2020年11月に第1回地方協議会を開催して以来、地方協議会での協議を重ねてこのたびの議決に至った。

この議決を受けて早速同月22日には、2025年7月の新教区発足に向けた新教区準備委員会が組織され、組織、教化、財務に加えて将来構想小委員会が設けられて具体的な協議が開始された。

読者のお便り

お寺でいきいき百歳体操

広島県江田島市
やまだ せつこ
山田 節子(72歳)

長く勤めていた仕事を辞め、コロナ下もあいまって人と繋がる機会がないなと思っていたところに、友人から誘われたのが「いきいき百歳体操」。全国各地で行われているそうで、お手次のお寺の同朋会館も会場の一つでした。週に1回、10人ほどが集まり、椅子に座ったまま映像に合わせて体を動かすのですが、とても爽やかな気持ちになります。また、地域の方とお話するのも楽しみの一つです。

そこで、ご自由にと置かれた『同朋新聞』を友人が持ち帰っているのを見て、私も手

に取り、初めて読みました。書いてあることが知らないことばかりで、ためになり、びっくりでした。

健康に気をつけながら、また『同朋新聞』をもらって帰り、心を入れ替えていかないと考えています。

お便り募集

『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。

宛先 Eメール/shuppan@higashihonganjii.or.jp FAX/075-371-9211
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上 東本願寺出版「同朋新聞編集係」

◆住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。
紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただく場合があります。

全国で広がる、感動と希望あふれる必見の舞台!!

2024年 2月26日[月]▶29日[木] 京都駅ビル内 京都劇場
3月 6日[水]▶ 8日[金] 名古屋 Niterra 日本特殊陶業市民会館
9月 11日[水]▶17日[火] 大阪日本橋 国立文楽劇場

各地の公演 (12月12日現在、計画中)

各会場で開演時間・料金等異なりますのでQRコードで検索、または下記までお問い合わせください。

■2月1日(木)【水戸市】/ 8日(木)【熊本市】/ 9日(金)【八代市】/ 10日(土)【久留米市】/ 12日(月)【波佐見町】/ 14日(水)【岩国市】/ 15日(木)【下関市】/ 20日(火)【津市】/ 21日(水)【豊橋市】/ 22日(木)【岡崎市】
■3月4日(月)【岐阜市】/ 5日(火)【長野市】 ■6月23日(日)【福井市】/ 24日(月)【金沢市】/ 25日(火)【富山市】/ 26日(水)【高岡市】/ 27日(木)【上越市】/ 28日(金)【新潟市】 ■7月1日(月)【山口市】/ 2日(火)【福岡市】/ 3日(水)【北九州市】/ 4日(木)【大分市】/ 5日(金)【佐伯市】/ 7日(日)【日田市】/ 9日(火)【中津市】/ 11日(木)【宮崎市】/ 12日(金)【都城市】/ 17日(水)【福山市】/ 18日(木)~20日(土)【広島市】/ 22日(月)【鳥取市】/ 23日(火)【神戸市】/ 25日(木)【郡山市】/ 31日(水)【小樽市】 ■8月1日(木)【千歳市】/ 2日(金)【帯広市】/ 4日(日)【旭川市】

お申込み・お問合せは前進座 TEL:0422-49-2633

花ごぶし

親鸞聖人と恵信尼さま

渡辺 善則作
河原崎 國太郎 川名 あき 演出

民軍と共にありて命の平等を説き
道を照らした親鸞聖人と
その妻恵信尼の
慈しみと救いの物語

有田 佳代

法然上人
藤川 矢之輔

親鸞聖人
嵐 芳三郎

恵信尼
濱名 実貴

後援
浄土真宗本願寺派
真宗大谷派
公財 仏教伝道協会

親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年記念
★前進座特別公演

ご案内



開門・閉門時間／3月～10月:5時50分～17時30分
11月～2月:6時20分～16時30分

晨朝(おあさじ)

【場所】阿弥陀堂及び御影堂
【時間】毎日7時～

晨朝法話

【場所】御影堂
【時間】毎日7時30分頃～

参拝接待所ギャラリー

【時間】9時～16時
「親鸞聖人のご生涯」(常設展)開催中
(～2月14日)
「蓮如上人御影道中展」
2月15日～3月21日

真宗本廟

真宗本廟法話

【場所】視聴覚ホール・御影堂・
参拝接待所仏間

【時間】

通常 ———— 10時10分～
13時10分～
速夜日(12・27日)13時10分～
御命日(28日) 9時30分～
※その他、時間・会場を変更する場合があります。

詳しくは →

東本願寺

検索



しんらん交流館

真宗本廟(東本願寺)へご参拝の際には、
ぜひお立ち寄りください。
開館時間／9時～17時 休館日／毎週火曜日

2月の定例法話

【時間】毎日14時～
※休館日、その他都合により休会する
場合があります。

2月の東本願寺日曜講演

【時間】9時30分～11時
【講師】2月4日 義盛 幸規
(北海道教区法蘭寺住職)
2月18日 室井 美千博
(三木清研究会事務局長)

詳しくは →

浄土真宗ドットインフォ

検索



令和6(2024)年 能登半島地震



宗派の支援状況

宗派では、救援活動を迅速に行うため、宗務所に設置されている「災害救援本部」と、金沢教務所に設置した「現地災害救援本部」が連携をはかり、寺院・門徒の被災状況の把握と救援活動に努めている。
1月3日より救援物資(タオル・ブルーシート・水・防寒具・食料等)とともに第1次職員現地派遣。能登教区・金沢教区の情報収集、被災寺院・行政機関等に救援物資を搬入した。宗派では順次職員を現地に派遣し、継続的な支援を行っていく。

救援金のお願い

宗派では、このたびの「令和6年能登半島地震」に対する救援金を勧募いたします。皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。

【救援金口座】

郵便振替口座番号

00920-3-203053

【加入者名】真宗大谷派

※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。



真宗本廟では境内各所に救援金箱を設置しています。
ご協力をよろしくお願いいたします。

2024年 真宗本廟奉仕に参加してみませんか

真宗本廟奉仕を機に
ぜひ帰敬式を受式ください

春の法要奉仕団

4月1日(月)～3日(水)
または4月1日(月)～2日(火)

宗祖親鸞聖人の御誕生を縁とした「親鸞聖人御誕生会(音楽法要)」等の春の法要参拝を中心とした奉仕団です。

※申込締切は各入館日の40日前です。

参加費

〈2泊3日〉18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円
〈1泊2日〉13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円

お申し込み・
お問い合わせ

同朋会館・研修部
TEL:075-371-9185



今月号の『同朋新聞』を読んで、
クロスワードパズルを完成させよう!

プレゼント付

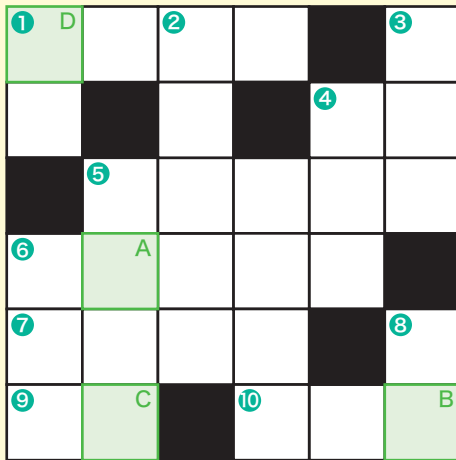
「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、クロスワードパズルを完成させましょう!
2月号の『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!

タテのカギ

- 『親鸞万華鏡』発刊記念トークセッション「〇〇、親鸞を語る」が開催されました。(7面)
- 「現在を生きる」今月は小松だ〇〇〇〇〇教区通信員畠山三和子さんが執筆しています。(4面)
- 「特集 真宗本廟(東本願寺)の境内建造物17棟が重要文化財〇」〇〇門は、金色で菊花紋を浮き彫りにしているのが特色です。(6面)
- 『親鸞万華鏡』発刊記念トークセッションでは、スピーカーとして、〇〇〇比呂美氏(詩人)、高橋源一郎氏(作家)、中島岳志氏(東京工業大学教授)が登壇しました。(7面)
- 「現在を生きる」今月のタイトルは「ご縁をいただき教えに〇〇よろこび」です。(4面)

ヨコのカギ

- 「人間といういのちの相」今月のタイトルは「地域で暮らす〇〇〇〇として」です。(2・3面)
- 「読者のお便り」今月のタイトルは「お寺でいき〇〇百歳体操」です。(7面)
- 「ひかりを伝えたひと」〇〇〇〇〇太子は「倭国の教主」と仰がれました。(5面)
- 「ひかりを伝えたひと」インドの龍樹・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の源信・源空(法然)は、「し〇〇〇〇〇」と呼ばれています。(5面)
- 宗祖親鸞聖人御〇〇〇〇う八百五十年・立教開宗八百周年慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」(2・3面枠下)
- 真宗本廟奉仕に参加しましょう 一言葉では説明できない〇〇の力」がここにあるー(4面枠下)
- 「ご案内」2月15日～3月21日まで、参拝接待所ギャラリーにて「蓮如上人御え〇〇〇中展」が開催されます。(8面)



12月号のクロスワードパズルの答えは、
と
し
の
ぜ

答え



※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

読者の
こえ

11月号を
読んで

◆私は結願日中に勤まる「坂東曲」が大好きです。僧侶が体を大きく振りながら念仏と和讃を繰り返す力強い声明の大ファンです。全身に力が湧いてきます。(80代女性)
◆「読者のお便り」「正信偈」の篆刻作品、どれぐらいの制作期間だったのでしょうか! 感心しました。(70代男性)

チャレンジ! 正解者の中から抽選で5名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1,000円分」をプレゼントします!

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、右記までご応募ください。今月号の締め切りは3月10日(日)(当日消印有効)です。

〈ご注意〉 ◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。 ◆個人情報(住所・氏名・年齢・電話番号)はプレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。 ◆感想は「読者のお便り」に掲載する場合があります。 ◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。

宛先

〒600-8505
京都市下京区烏丸通七条上る
東本願寺出版
「クロスワードパズル係」まで

メールでも応募できます!

はがきと同様に必ず左記①②③を記入し、「件名」に「同朋新聞2月号クロスワード応募」と入力の上higashihonganjishuppan@gmail.comへお送りください。

応募は
コチラ!



東本願寺出版
おすすめ本

ご注文・お問い合わせは

東本願寺出版
HIGASHI-MONGANJI PUBLISHING

TEL 075-371-9189

FAX 075-371-9211

詳しい書籍情報は

東本願寺出版

検索

ことば
法語と出会い、法話で親しむ
深くやさしい仏教の世界

仏さまの教えをひと言で表した法語と、その味わいを僧侶がやさしい文章で語ったお話を集めた31の短編法話集。

※本書は、真宗教団連合発行の「法語カレンダー」の随想集「今日のことば」から31の法語・随想を選定し、書籍化したものです。

31の味わい
お寺の掲示板

乾文雄ほか30名 著
文庫判 208頁／定価:935円(税込)



新刊

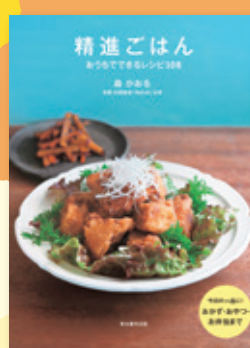
『精進ごはん』重版出来!

オリジナル精進レシピ集
プレゼントキャンペーン

精進ごはん
おうちでできるレシピ108

森 かおる 著
B5変形判 120頁／定価:1,430円(税込)

期間 2024年2月29日(木)まで
対象 『精進ごはん-おうちでできる
レシピ108』をご購入いただいた方



購入
方法

- ①「東本願寺出版HP(オンライン購入)」 「TEL」「FAX」「メール」で東本願寺出版にご注文
- ②「東本願寺お買い物広場」でご購入 ※1回のご購入につき1冊プレゼント

重版を記念して、精進料理を楽しんでいただきたいという願いを込め、書籍には未掲載の料理をご紹介しますオリジナルレシピ集をプレゼントいたします。手軽におうちで楽しめるレシピばかり! 期間中に書籍を購入し、レシピ集をゲットしませんか?

